

【ご確認】男子トーナメント変更2点とお詫びについて

2019. 7. 17

【説明】

平素より、鳥取県中学校総合体育大会ソフトテニス競技について、ご理解とご協力を戴き、誠に有り難うございます。

この度ホームページ上で公開させて頂いた男子トーナメントにおいて公開した内容に、ミスが発覚いたしました。

本来、実行委員会において最終チェックすべき部分であり、公開前に修正できなかった点について、参加選手ならびに関係者の方々にご迷惑をおかけいたしましたことに対し、深くお詫び申し上げます。

以下に、変更2点を補足説明と共にお知らせ致します。

【男子トーナメント変更点（1）】16本シード選手の配置ミスの修正

28番 山下・浪花ペア（東伯中） →→変更後→→ 41番 山下・浪花ペア（東伯中）
41番 豊口・脇坂ペア（河北中） →→変更後→→ 28番 豊口・脇坂ペア（河北中）

<補足説明>

同一校の学校バランスの調整段階（同一校1番手と2番手を左右の山に振り分ける調整段階）で、本来16本シード内に配置されるべき山下・浪花ペア（東伯中）が、32本シードに配置されてしまったものを修正し、16本シード内に再配置するもの。

<原因>

トーナメント公開前の実行委員会（県東中西専門委員長）による最終チェック（中部地区⇔県）の段階で、チェックから漏れてしまったため。

<発覚>

該当校の顧問の先生を通じて実行委員会にご指摘があり、実行委員会にて再確認したところ、16本シード外への配置ミス（中部地区⇔県の連絡ミス）が明らかになったため。

<対応>

変更による悪影響を最小限にとどめるために、同じ中部地区の豊口・脇坂ペア（河北中）と入れ替えることで対応致しました。両者には、7月16日中に中部地区委員長を通じてご承認戴きました。これにより、学校バランスとして、東伯中1番手と2番手が左右の山に振り分けられないという例外が生じます。実行委員会として、16本シード内に再配置の方が選手ファーストであると判断いたしましたので、どうかご理解戴きたいと思っております。また本件は、両者の対戦相手の顧問の先生方にも、7月16日中にご承認戴いております。

<再発防止>

再発防止策として、以下の点を今後検討したいと考えております。

①トーナメントチェックの精密化

実行委員会（県東中西各専門委員長）内にとどまらず、より多くの目でトーナメントをチェックできるような仕組みづくり

②「トーナメント公開手順マニュアル」等の作成

【男子トーナメント変更点（2）】学校名の入力ミスの修正

4 4 番 柴田・柴本ペア（東山中） →→変更後→→ 4 4 番 柴田・柴本ペア（湊山中）

鳥取県中体連ソフトテニス専門部委員長 岡 慎也